

知立駅付近連続立体交差事業 事業計画の見直しについて

○見直し概要

見直しに関する内容は、以下のとおりです。

【事業期間】 2028(令和10)年度完了

▶▶ 2031(令和13)年度完了

＜主な要因＞

- ・ 鉄道の運行の安全性に配慮したことにより、想定以上の期間を要したため。
- ・ 国の働き方改革により、現場での稼働時間が短くなったため。

【事業費】 約792億円(市負担額約125億円)

▶▶ 約995億円(市負担額約149億円)

＜主な要因＞

- ・ 労務単価や資材単価等の上昇
- ・ 想定が困難な要因による変更
- ・ 安全対策、環境対策の追加・変更

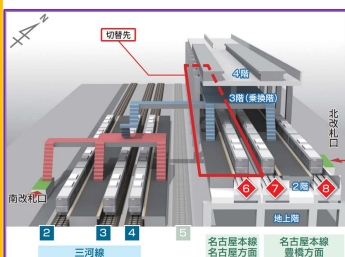
	＜変更前＞		＜変更後＞
国	約361億円	▶▶	約454億円(+93億円)
県	約178億円	▶▶	約232億円(+54億円)
市	約125億円	▶▶	約149億円(+24億円)
名鉄	約128億円	▶▶	約160億円(+32億円)
計	約792億円	▶▶	約995億円(+203億円)

○事業効果の発現

高架切替時期については、以下を目標に進めます。

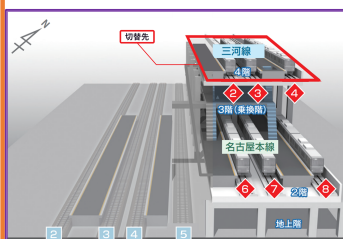
2026年度
(令和8年度)

名古屋本線
(名古屋方面行き)
高架切替



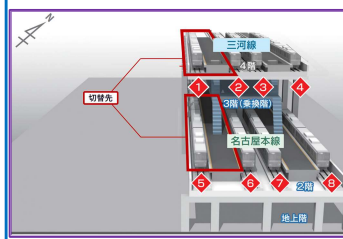
2027年度
(令和9年度)

三河線
(豊田・碧南方面共)
高架切替



2030年度
(令和12年度)

全線高架切替
(知立駅部の完成)



事業完了

2031年度
(令和13年度)

側道等供用開始

